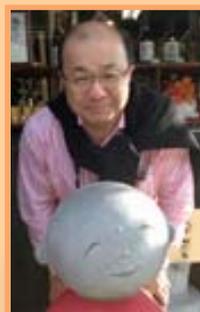


麻生すこやか通信

VOL. 25

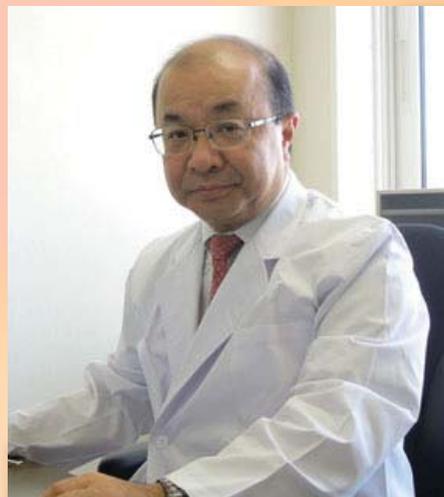
医療法人 札幌麻生脳神経外科病院 広報誌 2014年1月

札幌麻生脳神経外科病院に赴任して 院長 飛驒 一利



プロフィール PROFILE

ひだ・かずとし—1956年生、北海道出身。1981年北海道大学医学部を卒業。2002年北海道大学医学部脳神経外科准教授、2007年北海道大学診療教授を経て、2013年10月より当院病院長に就任。日本脳神経外科専門医、脊髄外科指導医、日本脊髄外科学会理事、日本脊髄障害医学会理事、北海道大学客員教授。



このたび、札幌麻生脳神経外科病院長として着任しました。

北大病院に勤務する前は、旭川赤十字病院や釧路労災病院で、数多くの開頭手術を経験しましたが、平成2年に北大に戻って以来、7000例余の脊椎脊髄疾患の手術を行い、脊髄空洞症の術式改良や頸椎症、あるいは腰椎のインプラントの開発・実用化を図り、北大病院を全国でも多い脊髄腫瘍、脊髄血管奇形の治療施設にしました。

北大病院には23年間おりましたが、以前からご縁があるこの病院に10月より赴任した次第です。お蔭様で赴任以降、周囲の病院から数多くの患者さまをご紹介していただいております。

当院では3テスラMRIの導入やCTとSPECTの複合機など、最新の診断機器を用いて迅速に診断し、十分なインフォームドコンセントのもと患者さまに侵襲が少なく最

適の治療方針を提示し、実践していただきます。プロ意識の高い放射線技師、やさしい笑顔の看護師、面倒見のよいソーシャルワーカー、数多くの手術をテキパキとこなす手術場のスタッフ、術直後より熱心に行ってくれるリハビリ科のOT、PT、STなど多くのスタッフに支えられています。

当院は、回復期リハビリの施設と地域連携を図りながら、診療を行っていますが、今後も地域の内科、整形外科、神経内科の病院との連携を重視しながら、北大の関連施設としても若手医師を養成し、全国レベルの高い技術で地域医療に貢献していきたいと思っております。

当院では365日急患をみる医師が待機していますので、患者さま、そしておご家族にとりまして、「札幌麻生脳神経外科病院はいつでも安心な病院」であることを強調したいと思います。

重荷を 背にしても 飛翔する!



理事長 齋藤 久寿

皆さまはご家族と共に健やかによい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

札幌麻生脳神経外科病院は昭和60年の開院から数えて29回目の新年を迎えました。開院以来、患者さま第一を理念とし、断らない急性期医療を目標に掲げて励んで参りました。この厳しい医療制度のもとで頑張ってきたのも患者の皆さま、医療関連の皆さまの叱咤激励のおかげと思っています。

去年は人々の「絆」の大切さが再認識されました。東北楽天の日本一が震災後3年たっても進まない復興に業を煮やした被災地の人々の心に大きな活力をもたらし、東京オリンピ

ックの招致、そして「おもてなし」の言葉も私達国民の心に同様の効果をもたらしました。

当院を顧みますと昨年10月に北大前准教授の飛驒一利医師が新院長として就任致しました。着任早々院内の隅々にまで行動力を存分に発揮しています。

今年29周年の当院は各部門のスタッフ間の心と機能の連携連帯を常に心がけ、患者さまのために「Never Give Up—決して諦めない」に加えて「おもてなし」の気持ちを前面に掲げて頑張ります。また、神経疾患の診断治療のベストを維持し、一層の進歩をめざして、1月からの理学療法士の増員、亜急性期医療の検討等、様々な計画をしています。午年にちなみ駿馬のごとく飛翔の年にしたいと願っています。

皆さまにとりまして希望にみちた明るい年となりますよう御祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。

病診連携懇話会

専門医療と地域貢献



北海道大学病院長
北海道大学脳神経外科教授
寶金 清博先生

11月28日(木)、当院4階研修室にて、病診連携懇話会を開催しました。朝から雪が降り続く悪天候の中、北海道大学病院、近隣の医療機関等から80名の方々にご出席者いただき、交流を深めました。

当院の齋藤久壽理事長の挨拶に始まり、続いて、飛驒一利院長が「私のキャリアと新しい札幌麻生脳神経外科病院について」と題し、講演しました。当院の方向性として、①最新の治療機器で侵襲の少ない安全な治療法を取り入れる ②北大病院の関連施設としての教育施設 ③地域に密着した診療 の3つの座標軸を示しました。

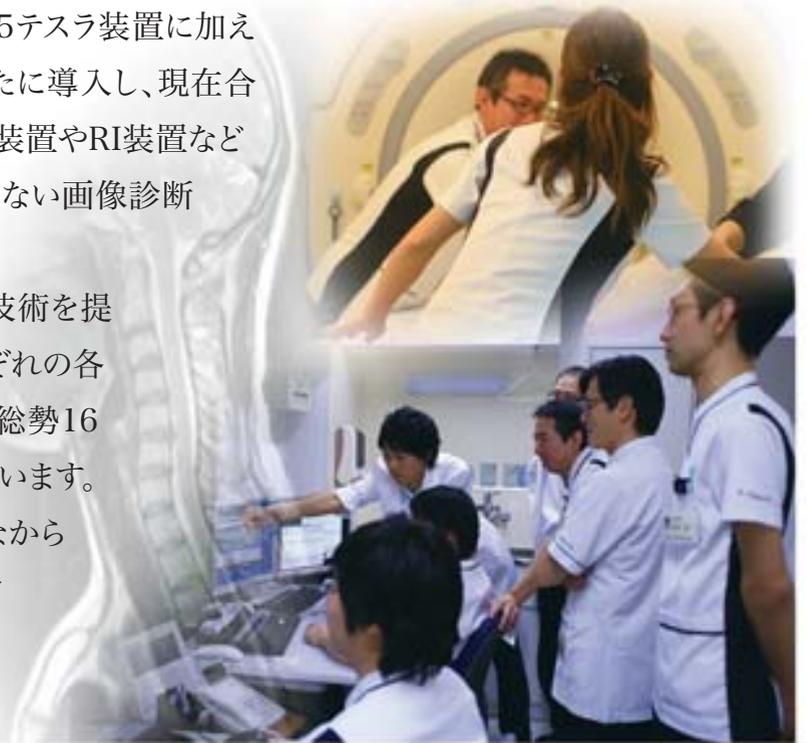
続いて、北海道大学病院長・北海道大学脳神経外科教授の寶金清博先生を講師としてお迎えし、「北大病院における医療連携」についてお話しいただきました。北大病院の歴史、役割、実情、他国の国立大学病院との比較、当院への期待など、わかりやすくユーモアを交えての解説に参加者は引き込まれました。当院の使命である、先進医療、医師を教育する医療、地域医療は、利益相反するので、財政基盤の強化が極めて重要であると強調され、盛況のうちに終わりました。

講演会終了後の情報交換会では、日常の課題を話し合う等、会場は終始にぎわいました。次回の病診連携懇話会は2月14日を予定しています。

画像診断部

当院の放射線科(画像診断部)は開院時に道内初のMR装置を導入して以来、「高度先進医療の推進と実践」を目標に、最新鋭の画像診断機器を導入してきました。特に、脳神経領域の精密な画像診断の主役であるMR装置は、3台の1.5テスラ装置に加え新築移転時に最新鋭の3テスラ装置を新たに導入し、現在合計4台のMR装置が稼働しています。また、CT装置やRI装置なども最先端のものを配備し、大学病院にも劣らない画像診断機器を完備しています。

検査に携わるスタッフは常に最良の検査技術を提供できるように研鑽を重ね、MR、CT、RIそれぞれの各学会認定資格を持つ専門の技師を配置し、総勢16名のスタッフが24時間体制で検査にあたっています。大きな機械に入って検査を受けることに、少なからず不安を感じるかもしれませんが、できるだけ安心して検査を受けていただけるように、スタッフ一同努力しています。



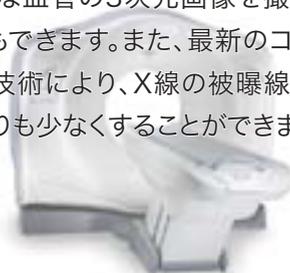
MR装置

1.5T(磁石の強さを表す単位)の装置は現在の医療現場で主力となっている高性能な装置で、鮮明な画像を撮影することができます。3Tの装置はさらに強力な磁石を用いて1.5Tよりも精密で詳細な検査をすることが可能で、脳機能に着目した検査や、血流評価等、臓器の働きを調べるような多彩な情報も得ることができます。



CT装置

当院のCT装置は一度に64断面の断層画像を撮影することができます。0.625mmという細かい断面のデータを高速に収集しコンピュータで画像処理することにより、脳血管の画像はもとより、脳神経外科領域以外にも全身の詳細な血管の3次元画像を撮影することもできます。また、最新のコンピュータ技術により、X線の被曝線量を従来よりも少なくすることができます。



RI(核医学)検査装置

放射性医薬品を投与し、機能的な情報や代謝、脳血流量やがんの転移などを評価します。CTやMRは主に臓器の形の変化を調べることにより病気を診断しますが、RI検査は臓器の働きを詳しく知ることができます。また、当院に新たに導入されたSPECT-CTはRI装置にCTを組み合わせた装置で、臓器の働きを知るとともに、CTにより臓器の形の異常も同時に知ることができる最新鋭の装置です。



PICK UP!

検査は安心して私たちにおまかせください!

放射線技師の浜口直子です。北海道大学医療技術短期大学部を卒業し、1年後から当院に勤務していますので、15年が経過しました。画像診断は技術の進歩が速く、新しく導入された機器に関して、常に最新の知識を習得する努力が欠かせません。努力といえば、プロポーションを保つために、水泳をしています。水中ウォーキングから始めた水泳ですが、今では毎週5km泳ぐほどになりました。患者さんが納得して、安心して検査を受けていただくために、十分な説明と笑顔を心掛けています。女性放射線技師のいる札幌麻生脳神経外科病院をよろしくお願いいたします。



診療放射線技師
浜口 直子



「特定疾患受給者証」をお持ちの患者さまへ

「特定疾患受給者証」をお持ちの患者さまで、お薬の自己負担が発生する場合があります。その際には、お薬を院外処方（調剤薬局）で頂くと、お薬の自己負担がなくなります。あいにく、当院の近くには調剤薬局がありませんが、院外処方をご希望される患者さまには、ご希望の調剤薬局でお薬が頂けるよう、当院薬局で面談や事前にFAXでの取り扱い等を行っております。特定疾患受給者証の更新は毎年行っておりますが、自己負担額が変わる場合がございますので、ご不明な点等は、医事課・医療生活相談室までお尋ねください。



当院の理念・方針・患者さまの権利

病院の理念

私たちは、常に「患者さま第一」を心がけます。

病院の方針

1. 高度先進医療の推進と実践
2. 地域医療への貢献、啓発と実践
3. 患者さまの権利擁護と尊重
4. 医療従事者、学生の教育と実習

患者さまの権利

1. 病気のことについて、納得いく説明を求めることができます。
2. 患者さまのプライバシー（全ての情報）は厳守されます。
3. 治療、検査、看護の同意について、患者さまの意思が尊重されます。

編集後記

「受付ロビーに外来サポートがいて良かった」

初診患者さまの声です。当院は、ロビーに外来サポートとして専任の看護師を配置しています。受付の案内以外にも、体調不良の患者さまに適切な対応ができ、たいへん好評です。ロビーに看護師が立つことは、患者さまに安心感をあたえ、大きな信頼となっています。患者さまの笑顔が私たちの宝物です。

医療法人 札幌麻生脳神経外科病院

〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40
TEL 011-731-2321(代表) FAX 011-731-0559
ホームページ <http://www.azabunougeka.or.jp>

交通アクセス

- 地下鉄：南北線 北24条駅下車（2番・3番出口から徒歩約7分）
- 中央バス：「北21条1」下車、徒歩約2分
- 中央バス：「北24条1」下車、徒歩約2分



携帯用サイト



当院へのバス路線 中央バス

屯田線 02・新琴似線 09・あいの里・篠路線 22
篠路駅前団地線 34 35 36・ひまわり団地線 39
花川南団地線 14・花畔団地線 16・元町線 東70
石狩線・石狩線（トーマン団地行）・札厚線・札浜線（特急）

※お間違いないようご注意ください

- 往路と復路とで停留所の異なる路線があります。
新琴似線 09・花川南団地線 14・花畔団地線 16・石狩線・石狩線（トーマン団地行）
- バス停「北21条東1」は、旧石狩街道・石狩街道の2カ所あります。
- バス停「北24条東1」は、旧石狩街道・石狩街道・宮の森北24条通の3カ所あります。